

信じられない悪の集団ハザール・マフィアの隠された歴史

ハザール・マフィアの秘密の歴史と、全世界をハイジャックしようとする
その悪なる計画がいま初めて明らかになる

By Preston James, Ph.D

June 25, 2018



[Greatchain 訳注]

我々の生きている世界は、巨大な悪に支配されているとよく言われる。それが事実であることは直感でわかる。しかしそれが何であるかがわからず、誰も教えてくれないので、ほとんどの人々が、欲求不満を抑え、諦めているように思える。途方もない悪人か、悪の集団が存在しているのは確かである。2001年の9・11テロ事件がその最大の例であり、これほどの大犯罪でありながら、それは解けない、解いてはならない謎のように存在している。終わったばかりの米選挙でも、そこには、よほど大きな権力をもつ誰かがいなければならないが、それは見えず、ただ、ある巨大な力として存在する。SOTNはこの両者は、同じ犯罪者によるものだと主張している。2019年に起こったジェフリー・エプステーンという、超有力なペド犯罪者の殺された(とされる)事件についても、真相はわからない。

しかし、そのような謎がいま、やっと解明されるようになった。この長文の論文(3部くらいに分けて訳す予定)は、先日の同じタイトルの記事の、冒頭に埋め込まれていたものである。私は近年、これほど興奮してものを読んだことはなく、また、うすうすは知っていたこともあって、これほど納得できるように感じたこともない。ただこれは貴重なだけ

に、ヤバイ読み物には違いない。2年以上前に書かれた原文も、今のところは読めるが、いつ消されるかわからないと思う。

ごく簡単に内容を言えば、この途方もない悪の長い歴史には、ロシアを通じて、極悪のハザール人とロスチャイルド家が、神への復讐の怨念によって関わっており、それが現在のイスラエルにまで繋がっているということである。そして我々がいま直面しているのは、人類と地球を滅ぼそうとする、想像を超えた、カネの魔術と子供の血を現実のものとする、悪魔（サタン、ルシファー、バール、モロック）だということである。私（訳者）の個人的な考えでは、悪魔の惑わしを断ち切ろうとするアメリカ（トランプ）が、歴史の経緯を知り、被害者であり続けたロシア（プーチン）と協力しなければ、地上に平和はやってこないと考える。そして、現時点でうごめいているバイデンとトランプの力学が、本質的にどういうものであるかが、これによってよくわかると思う。なお、原文の青字の埋め込み情報は、残念なことに、ほとんど利用不能になっている。

ハザール・マフィア:あなたは自分が何を知らないかを知らない

注：—ハザール人たちの歴史、特に、ハザールの少数支配者が、バビロニアのカネ魔術を発達させて変形させた、ハザール・マフィア (Khazarian Mafia, KM) と言われる、世界で最大の組織化された犯罪シンジケートは、歴史の本から、ほとんど完全に切り捨てられてきた。

現在のハザール・マフィア (KM) は、卑しい秘密なしには、活動も生存もできないことを知っている。だから、歴史の本から自分の歴史を切り取ることに、多くのおカネを費やしてきた。それは、世界の市民が、その世界最大の組織化された犯罪陰謀団を強力にする、「想像を超える悪」を、知ることがないようにするためだった。

我々この論文の著者は、ハザール人の、この失われた秘密の歴史と、彼らの大きな国際的な組織化された犯罪シンジケート——「ハザール・マフィア」(KM) と広く呼ばれている——を掘り起こし、新しいゲーテンベルグ印刷機であるインターネットによって、世界がこの歴史を理解できるように最善の努力をしてきた。

KM の、この隠された秘密の歴史を再構成することは、きわめて難しいことだった。だから、どんな小さな不正確さや間違いでも、意図的でなく、ハザールとそのマフィアの真の歴史を掘り起こすことの難しさによるものは、お許しを願いたい。我々はその再構築の最善の努力をしてきた。

まず Mike Harris の仕事は、点をつないで、ハザール・マフィアの秘密の歴史の存在を現実に見出すことで、それは血盟によって、ロシアが、独立戦争と南北戦争の両方においてアメリカを助けたことに、復讐することで、彼らの血盟は、アメリカとアメリカ人が、これらの戦争と連合を成功させたことに対して、復讐を遂げることであった。

2014年12月1日、「テロとの戦いと宗教的過激主義」を論ずるシリア会議において、その基調演説で、Veterans Today のシニア編集者兼所長の Gordon Duff は、世界のテロ行為は現実には、イスラエルと組んだ、大きな国際的な組織犯罪シンジケートによるものであることを、歴史的に初めて、公式の場で明らかにした。この暴露のショックの波は、その会議のみならず、ほとんど瞬間的に世界中に伝わり、ほぼすべての世界のリーダーは、ゴードン・ダフの歴史的な暴露の知らせを、同日中に、場合によっては数分以内に受け取った。

そして、ダマスカスにおける、彼の歴史的なスピーチによるショックの波は、まさに今日に至るまで世界中に反響し続けている。そして現在、ゴードン・ダフは、プーチン大統領に対して、ロシアの情報局がこれを公表し、約300人の米議会の裏切り者を暴露し、彼らの深刻な連続的重罪の犯行と、アメリカと多くの中東諸国に敵対して、ハザール・マフィアに与する法的なスパイ行為を、知らしめるように要請した。

我々は今、ハザール・マフィア (KM) が、アメリカとアメリカ人に対して、ひそかに戦争を仕掛けていることを知っている。それは、ニセ旗による Gladio 式テロリズムによるもの、また不法な、憲法違反の連邦準備システム、IRS、FBI、FEMA、祖国安全保障法や TSA を手段としている。我々は、KM が内部犯行によって、01年9月11日の、アメリカへのグラディオ式「ニセ旗」攻撃も、また1995年4月19日の Murrah ビル爆破も、行ったことを知っている。



信じられない悪としてのハザール・マフィアの隠された歴史

By Preston James and Mike Harris
Veterans Today

100-800 AD—ある信じられないほど悪なる結社がハザールに出現：

ハザール人たちは、ある悪なる王によって統治される国家を発達させたが、彼は古代バビロニアのブラック・アートを身につけ、朝臣として仕えるオカルト少数者を持っていた。この期間に、ハザール人たちは、周囲の国から、盗賊、殺人者、追剥などとして知られるようになり、彼らが殺した旅人になりすまし、これを通常の職業や習慣としていた。

800 AD—最後通牒がロシアや他の周辺国から通達される：

周辺国のリーダーたち、特にロシアは、長年にわたり、市民たちから不平を聞いていたので、彼らは集団を作って、ハザールの王に最後通牒を突き付けた。彼らはハザール王にコミュニケを送り、彼はアブラハムの3つの宗教のどれかを、民衆のために選ばなければならない、そして、それを彼の公的な国家宗教として、すべてのハザール市民に、その実践を要求しなければならないと言った。そして、すべてのハザールの子供たちを啓蒙して、この信仰を実行させよと言った。

ハザール王は、イスラム教、キリスト教、ユダヤ教の3つの選択肢を与えられた。王はユダヤ教を選び、ロシアのツァー（皇帝）の率いる連邦国家の定める要求の、内部に留まることを約束した。彼の合意と約束にもかかわらず、ハザール王と彼の少数政治サークルは、古代バビロニアの黒魔術（秘密サタン教とも呼ばれる）を実践し続けた。この秘密サタン教には、子供の「血を抜き去り」、それを飲み、その心臓を食ったあとで、子供の生贄を行うオカルト儀式が含まれる。

このオカルト儀式の深く暗い秘密は、それらがすべて、古代の「バール信仰」——梟信仰としても知られる——に基づいていることだった。ハザールを監視していた、ロシアの先導する連邦国家をあざ笑うために、ハザール王は、これらルシファー教の黒魔術儀式をユダヤ教と融合させ、バビロニア・タルムード教として知られる、秘密のサタン教との雑種をつくり出した。これがハザールの国家宗教とされ、ハザールが昔知られていた通りの、同じ悪を生み出すようになった。

悲しいことに、ハザール人たちは彼らの悪の習慣を継続し、ハザールを旅する周囲の国の人々を略奪し、殺すようになった。ハザールの強盗はしばしば、旅人を殺した後で、彼らになりすまそうとし、変装とニセモノになりきる達人になった。これは、彼らがまさに今日まで続けている習慣で、子供の生贄のオカルト儀式と共に、それは実は、古代の「バール信仰」である。

1200 AD—ロシアと周辺国が我慢の限界となり、断固、行動する：

ロシア人が、ハザールを取り巻く国家群をリードし、それを侵略した。これは、彼らの民族に対するハザールの犯罪をやめさせるため、そこには、バール神への血の生贄儀式のための、幼い子どもや幼児の誘拐が含まれていた。ハザール王と、その内部の犯罪者朝廷や殺人者たちは、近隣の国々から、ハザール・マフィア (KM) と呼ばれるようになった。

ハザールのリーダーたちは、よく発達したスパイ・ネットワークを持っており、彼らはこれによって、あらかじめの警告を受け、ハザール国からヨーロッパ諸国の西へ逃亡し、金や銀による彼らの巨大な財産を持ち去った。彼らは身を伏せて再び集合し、新しい身分や名を名乗った。彼らはひそかに、サタンのな子供の血や生贄の儀式を続け、バールが彼らに、世界全体と、すべての富を与えてくれることを信じた。それは彼が彼らに約束したものであり、彼らが血を抜き続け、子どもや幼児を彼に生贄として捧げる限り、守られるものだった。

ハザールの王と、その朝廷のマフィアは、ハザールを侵略し、彼らを権力から追い出した、ロシアとその周辺国に対して、永遠の復讐を計画した。

ハザール・マフィアが、何百年も追放された後に、英国を侵略する：

彼らは侵略を成し遂げるために、オリヴァー・クロムウエルを雇ってチャールズ1世を殺させ、英国を再び銀行業にとって安全にする。ここから英国の内戦が始まり、それは10年近くも続いて、王の家族と、数百の純粋なイギリス貴族を殺す結果となった。このようにして、ヨーロッパの銀行中心地としての、シティ・オブ・ロンドンが設立され、大英帝国の基礎が出来上がった。

デイヴィッド・アイク (David Icke) は、ロスチャイルド家族を、何百人もの前で公然と暴露した、最初の勇気ある人物である。これは当然、彼を国際的な英雄にしたが、彼のような勇気はもっと必要であり、隠れたハザール・マフィアの陰謀を打破し、彼らの世界的な不法な権力を終わらせなければならない。

ハザール・マフィア (KM) が、バビロニアの黒魔術を用いて、すべての世界的銀行業に侵入し、ハイジャックする。これは「バビロニアのマネー・マジック」、あるいは無からカネをつくり出す秘密の術と呼ばれ、ここには悪辣な高利貸しによって利子を蓄える能力も含まれる：

KM はその莫大な富を利用して、新しい銀行業システムに乗り出した。これは秘密のバビロニア・ブラックマジックに基づくもので、彼らが、多くの子供の生贄を捧げたことの返礼として、バールの悪霊から学んだと称する、マネー・マジックである。

このバビロニアのマネー・マジックには、金と銀の預金の代わりにする、紙の信用証明書が用いられていた。これは旅行者が、万一、証明書を失くしたり、盗まれたりしても、簡単に代わりが手に入るカネの形にして、旅行することを可能にした。

ハザール人たちによって始まった問題そのものが、彼らによって、ある解決をも与えられたということは面白いことだった。最終的には、ハザールの王と、その取り巻きの小さな朝廷は、ある集団と共にドイツに侵入し、その名前には、ドイツの“Bauers” (建設者) を名乗って自分たちのものとし、彼らのバール神から力を貰う、悪のシステムを継続した。Red Shield (赤い楯、Rothschild) の Bauers は、彼らの秘密の血をベースとする、子供の生贄を示すものだが、それは「ロスチャイルド」と名前を変えた (「大きな石の子ども」サタンを指す)。



ロスチャイルド家が、ハザール・マフィアのフロントマンとして、英国の銀行業に侵入し、これをハイジャックし、次に、英国全体をハイジャックする：

Bauer/Rothschild は5人の息子を持っていて、彼らは、ヨーロッパの銀行業と、シティ・オブ・ロンドンの中央銀行システムに侵入し、これを接収した。そのやり方は、さまざまな巧妙で隠された作戦によるもので、ナポレオンがイギリスに勝ったという、ニセの報告などが用いられたが、実はナポレオンは負けていた。これによってロスチャイルド家は、詐欺や偽りを用い、イギリスの貴族や大地主たちの富を盗むことができた。彼らは City of London の金融機関に、ビジネス投資をしていた。

ロスチャイルド一族は、私的な不換紙幣による銀行システムを設けたが、これは無から偽のカネをつくり出すことを専門にするもので、英国人たちに、彼ら自身のお金であるはずのものを用いて、悪質な高利を要求した。

これこそ、バビロニアのカネ・マジックのブラック・アートであった。彼らはインサイダーたちには、そのようなテクノロジーと秘密のマネー・パワーは、バールによって彼らに与えられたものだとして主張した。なぜならこれは、彼らがしばしばバールに捧げる、子供の血紋りと生贄の儀式のおかげだった。

ひとたび彼らが、イギリスの銀行業システムに侵入し、これをハイジャックすると、彼らはイギリスの王族と婚姻を結び、イギリスのすべてと、その主要な機関を完全にハイジャックした。専門家の中には、ロスチャイルド家は、英王家をジェノサイドによって一掃したと主張する者もいる。それは秘密にやってのけた不倫と、彼ら自身のハザールの男性との姦通によるもので、王族を、彼ら自身の血を引く者に入れ替えるためだった。

ハザール・マフィアは、国際的な努力を行使して、全能なる神の神権によって支配する王たちを、根絶しようとしている：

KM は、バール（悪魔、ルシファー、サタン）との個人的友好関係を、それに犠牲を捧げることによって得ていると主張している。彼らはどんな王でも、全能なる神の権威の下に支配する王を、忌み嫌っている。なぜなら王たちは、彼らの臣民が、侵入した、「門の中の敵」から保護されるように、責任を感じているからである。

1600年代、KM は英国の王族を殺し、彼ら自身のニセの王と入れ替えた。1700年代には、彼らはフランスの王族を殺した。第一次大戦直前には、彼らは、オーストリア皇太子フェルディナンドを殺し、戦争を始めさせた。1917年には、彼らは、自分の KM 軍隊、ボルシェビキを寄せ集め、ロシアに侵入してハイジャックし、ツァーと彼らの家族を冷血に殺し、皇帝の愛する娘の胸を銃剣で刺し、すべてのロシアの金と銀、芸術的財宝を盗んだ。第二次大戦直前には、オーストリアとドイツの王族を殺した。次に彼らは、中国の王族を廃除し、日本の支配者の力を奪った。

ハザール・マフィアの、誰でも自分たちの神であるバールを除いて、どんな神に対しても信仰を表明する者への激しい憎しみは、彼らを動かして王や王族を殺させ、彼らが決して統治できないようにした。彼らは、アメリカ大統領に対しても同じことをし、彼らを骨抜きにするために、巧妙で、密かな作戦を展開した。

もしそれに効き目がなければ、KM は、マッキンリーやリンカンや JFK にしたように、暗殺を行う。KM はどんな強い指導者でも、選ばれた役人でも、彼らのバビロニアのマネー魔術や、隠れた権力にあえて抵抗する者を、亡き者にしようとする。

ロスチャイルドは KM のために、国際的な麻酔薬の取引を考え出す：

ロスチャイルドは、次に、英帝国を利用し、他では手に入らない上質の絹や香辛料を買うために、英国が中国に払っていた大量の金や銀を取り戻す、邪悪な計画をした。

ロスチャイルドは、国際的なスパイ網を通じて、トルコのアヘンのこと、またその習慣性となる性質のことを聞いていた。彼らは隠れた作戦を用いて、トルコのアヘンを買って、これを中国に売り、何百万の人々に悪いアヘンの習慣をつけさせ、ロスチャイルドの金庫には金銀が戻ってくるが、イギリス人には戻らないようにした。

ロスチャイルドの、中国へのアヘン販売によってつくられたアヘン中毒は、中国をひどく痛めつけたので、中国はそれを止めるために、2 度に及んで戦争を起こした。これらの戦争は Boxer Rebellions (義和団の乱) とか「アヘン戦争」とか呼ばれている。

ロスチャイルドがアヘンを売って得たお金は、莫大なもので、彼らは、アヘン中毒者がアヘンによるよりも、むしろ、自分たちが楽なカネの中毒になる方が大きかった。

ロスチャイルド一族は、アメリカ植民地制度の背後の、資金源になっていた。その方法は、「ハドソン湾会社」や他の貿易会社を合体させることによって、アメリカの「新世界」を搾取することであった。ロスチャイルドこそ、大量絶滅やジェノサイドを命じた張本人であり、北アメリカの土着の人々に、この大陸の広大な自然資源を搾取させたのは、彼らだった。

ロスチャイルドはまた、カリブ海とインドのアジア亜大陸に、同じビジネスの版型を敷き、数百万の罪のない人々を殺すという結果をもたらした。

(以上、翻訳は全体のほぼ3分の一)